

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 3 日 (2014.7.3)

【公開番号】特開 2013-5247 (P2013-5247A)

【公開日】平成 25 年 1 月 7 日 (2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2013-001

【出願番号】特願 2011-134802 (P2011-134802)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

H 0 4 W 8/24 (2009.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 U

H 0 4 Q 7/00 6 2 9

H 0 4 Q 7/00 1 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 20 日 (2014.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記目的を達成するため、本発明は、

互いに無線通信が可能な携帯型電子装置と、機能設定管理装置と、からなる機能設定管理システムであって、

前記携帯型電子装置は、

第 1 の所定の機能に係る動作を行う第 1 機能動作手段と、

当該第 1 機能動作手段の動作設定に係る情報を記憶する第 1 記憶手段と、

前記第 1 記憶手段に記憶された前記動作設定に係る情報に基づいて前記第 1 機能動作手段の動作を制御する第 1 動作制御手段と、

前記機能設定管理装置との通信内容を制御する通信制御手段と、

を備え、

前記機能設定管理装置は、

前記第 1 機能動作手段の前記動作設定に係る情報を記憶する第 2 記憶手段を備え、

前記通信制御手段は、前記携帯型電子装置と前記機能設定管理装置との間での無線通信の接続が確立された場合に、所定のタイミングで前記第 2 記憶手段から前記動作設定に係る情報を取得し、

前記第 1 動作制御手段は、当該取得された動作設定に係る情報を、前記第 1 記憶手段に記憶させる

ことを特徴とする機能設定管理システムである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに無線通信が可能な携帯型電子装置と、機能設定管理装置と、からなる機能設定管理システムであって、

前記携帯型電子装置は、

第 1 の所定の機能に係る動作を行う第 1 機能動作手段と、

当該第 1 機能動作手段の動作設定に係る情報を記憶する第 1 記憶手段と、

前記第 1 記憶手段に記憶された前記動作設定に係る情報に基づいて前記第 1 機能動作手段の動作を制御する第 1 動作制御手段と、

前記機能設定管理装置との通信内容を制御する通信制御手段と、

を備え、

前記機能設定管理装置は、

前記第 1 機能動作手段の前記動作設定に係る情報を記憶する第 2 記憶手段を備え、

前記通信制御手段は、前記携帯型電子装置と前記機能設定管理装置との間での無線通信の接続が確立された場合に、所定のタイミングで前記第 2 記憶手段から前記動作設定に係る情報を取得し、

前記第 1 動作制御手段は、当該取得された動作設定に係る情報を、前記第 1 記憶手段に記憶させる

ことを特徴とする機能設定管理システム。

【請求項 2】

前記機能設定管理装置は、第 2 の所定の機能に係る動作を行う第 2 機能動作手段と、

前記第 2 機能動作手段の動作を制御する第 2 動作制御手段と、

を備え、

前記第 2 記憶手段は、前記第 2 機能動作手段の動作設定に係る情報を更に記憶し、

前記通信制御手段は、前記携帯型電子装置と前記機能設定管理装置との間の無線通信の接続が確立されて、前記第 2 記憶手段から前記動作設定に係る情報を取得した場合に、前記第 1 記憶手段に記憶された前記第 2 機能動作手段の動作設定に係る情報を前記機能設定管理装置に送信し、

前記第 2 動作制御手段は、前記通信制御手段により送信された前記第 2 機能動作手段の動作設定を動作要求設定として前記第 2 記憶手段に記憶させ、当該動作要求設定に基づいて前記第 2 機能動作手段を動作させる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の機能設定管理システム。

【請求項 3】

前記機能設定管理装置は、他の外部機器との間で電話による音声通信を行う音声通信手段と、メールによる通信を行うメール通信手段とを備え、

前記第 2 機能動作手段は、当該他の外部機器からの音声通信の着信情報を前記携帯型電子装置へ通知する音声着信通知手段と、メールの着信情報を前記携帯型電子装置へ通知するメール着信通知手段と、を備え、

前記第 1 機能動作手段は、前記音声着信通知が取得された際に前記動作設定に基づき前記音声着信通知を取得したことを報知する音声着信報知手段と、前記メール着信通知を取得した際に前記動作設定に基づいて当該メール着信通知を取得したことを報知するメール着信報知手段と、を備える

ことを特徴とする請求項 2 に記載の機能設定管理システム。

【請求項 4】

前記通信制御手段は、前記携帯型電子装置と前記機能設定管理装置との間で無線通信の接続が確立された際に、前記第 2 記憶手段に前記動作設定に係る情報が存在しなかった場合には、前記第 1 記憶手段に記憶された前記第 2 機能動作手段の動作設定に係る情報をそのまま前記機能設定管理装置に送信する

ことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の機能設定管理システム。

【請求項 5】

前記第 1 動作制御手段は、

前記通信制御手段が前記第 2 記憶手段から前記動作設定に係る情報を取得した場合に、

当該取得された前記動作設定に係る情報により、前記第 1 記憶手段に記憶されていた前記動作設定に係る情報を上書き更新する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の機能設定管理システム。

【請求項 6】

前記機能設定管理装置は、

前記動作設定に係る情報を入力する入力手段を備え、

前記第 2 動作制御手段は、当該入力手段により入力された前記動作設定に係る情報を前記第 2 記憶手段に記憶させる

ことを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の機能設定管理システム。

【請求項 7】

外部機器と近距離無線通信を行うための第 1 無線通信手段と、

所定の機能に係る動作を行う第 1 機能動作手段と、

当該第 1 機能動作手段の動作設定に係る情報を記憶する第 1 記憶手段と、

前記第 1 記憶手段に記憶された前記動作設定に係る情報に基づいて前記第 1 機能動作手段の動作を制御する第 1 動作制御手段と、

前記第 1 無線通信手段による前記外部機器との通信内容を制御する通信制御手段と、
を備え、

前記通信制御手段は、前記外部機器との間の通信接続が確立された場合に、当該外部機器において近距離無線通信の対象となる携帯型電子装置に対して共通に設定された前記動作設定に係る情報を、所定のタイミングで前記外部機器から取得し、

前記第 1 動作制御手段は、当該取得された動作設定に係る情報を、前記第 1 記憶手段に記憶させる

ことを特徴とする携帯型電子装置。

【請求項 8】

前記外部機器から取得される前記動作設定には、所定の条件で前記外部機器から通知を送信させるための通知動作設定が含まれ、

前記通信制御手段は、前記外部機器との間の通信接続が確立されて、前記外部機器から前記動作設定に係る情報を取得した場合に、前記第 1 記憶手段に記憶された前記通知動作設定に係る情報を前記外部機器に送信し、

前記外部機器から当該通知動作設定に基づく通知を受信した場合には、

前記第 1 動作制御手段は、前記第 1 記憶手段に記憶された前記動作設定に基づいて前記第 1 機能動作手段を動作させる

ことを特徴とする請求項 7 に記載の携帯型電子装置。

【請求項 9】

1 又は複数の携帯型電子装置と近距離無線通信を行うための第 2 無線通信手段と、

前記携帯型電子装置が実行可能な機能に係る種々の動作に対し、全ての前記携帯型電子装置に共通な動作設定の情報を記憶する第 2 記憶手段と、

を備え、

前記携帯型電子装置の何れかから前記動作設定の情報を要求された場合には、

前記第 2 無線通信手段により、当該携帯型電子装置へ前記動作設定を送信する

ことを特徴とする機能設定管理装置。

【請求項 10】

前記近距離無線通信を介して前記携帯型電子装置へ通知を送信する通知手段と、

所定の条件で前記通知手段を動作させる第 2 動作制御手段と、を備え、

前記第 2 記憶手段に記憶された前記動作設定には、当該通知手段の動作に係る通知動作設定が含まれ、

前記第 2 無線通信手段は、前記携帯型電子装置へ前記動作設定を送信した後に、当該携帯型電子装置から前記通知動作設定を受信し、

前記第 2 動作制御手段は、前記携帯型電子装置から送信された当該通知動作設定に基づいて前記通知手段を動作させる

ことを特徴とする請求項 9 に記載の機能設定管理装置。